

函館市医療・介護連携推進協議会  
連携ルール作業部会 退院支援分科会 第9回会議

日 時：令和4年3月7日（月）19：00～  
開催方法：ウェブ開催

【次 第】

1 開 会

2 議 事

○報告事項

- (1) 「はこだて入退院支援連携ガイド」に係るアンケート調査報告 (資料1)
- (2) 「はこだて療養支援のしおり」に係るアンケート調査報告 (資料2)
- (3) 令和3年度における「はこだて療養支援のしおり」の修正箇所について (資料3)

○協議事項

- (1) 「はこだて入退院支援連携ガイド」の見直しについて (資料4)
- (2) 「はこだて療養支援のしおり」の見直しについて (資料5)
- (3) 「入退院支援連携強化研修会（ガイド編）」の次年度開催について (資料6)
- (4) はこだて在宅看取りガイド（仮）の作成について

3 その他

- (1) 次回の部会日程について

4 閉 会

【配付資料】

- 1 「はこだて入退院支援連携ガイド」令和3年度アンケート集計結果
- 2 「はこだて療養支援のしおり」令和3年度アンケート集計結果
- 3 「はこだて療養支援のしおり」修正箇所（令和3年度）
- 4 「はこだて入退院支援連携ガイド」見直し案
- 5 「はこだて療養支援のしおり」見直し案
- 6 「入退院支援連携強化研修会（ガイド編）」（案）

函館市医療・介護連携推進協議会 連携ルール作業部会  
退院支援分科会 第9回会議 出席者名簿

※★…部会長および副部会長 ●…分科会長 ○…幹事

(敬称略)

分野	所属団体	連携ルール作業部会 (退院支援分科会)	
		氏名	勤務先等
医療	公益社団法人 函館市医師会	★部会長 恩村 宏樹 ※欠席	医療法人社団 恩村内科医院
		○幹事 佐藤 静	函館市医療・介護連携支援センター
	一般社団法人 函館歯科医師会	高見 浩	タカミ歯科クリニック
	一般社団法人 函館薬剤師会	田中 秀幸	石川中央薬局
	公益社団法人 北海道看護協会 道南南支部	余田 睦美	独立行政法人 国立病院機構 函館病院
	道南在宅ケア研究会	鈴木 幸子 ※欠席	社会福祉法人函館厚生院 函館五稜郭病院 在宅療養支援室
	函館地域医療連携実務者協議会	★副部会長 崎野 輝彦	市立函館病院
		奥山 ちどり	社会福祉法人函館厚生院 函館中央病院 総合医療支援センター 入退院支援室
一般社団法人 北海道医療ソーシャルワーカー協会 南支部	岩城 朋美	社会福祉法人函館厚生院 函館中央病院	
介護	函館市居宅介護支援事業所連絡協議会	高橋 淳史	指定居宅介護支援事業所 共愛会病院
	函館市地域包括支援センター連絡協議会	●分科会長 福島 久美子	函館市地域包括支援センター こん中央
	函館市訪問リハビリテーション連絡協議会	岩崎 祐介	通所リハビリテーション 医療法人道南勤労者医療協会 道南勤医協 函館稜北病院
	道南訪問看護ステーション連絡協議会	★副部会長 保坂 明美	訪問看護ステーション フレンズ
		高橋 陽子	訪問看護ステーション ケンゆのかわ
道南地区老人福祉施設協議会	山石 卓弥	特別養護老人ホーム 社会福祉法人函館共愛会 愛泉寮	

はこだて入退院支援連携ガイド  
令和3年度 アンケート集計結果

資料1

	事業所 配布数	事業所 回答数	回収率	アンケート回答数 (同一施設 複数回答あり)
病院	25	20	80.0%	27
居宅	98	44	44.9%	53
包括	10	4	40.0%	18
施設	147	50	34.0%	50
合計	280	118	42.1%	148

※各機関1枚の回答を求めるアンケートであったが、いくつかの機関から複数人の回答が寄せられたことにより配布数や事業所回答数よりアンケート回答数が多くなっている。

1. 『はこだて入退院支援連携ガイド』(以下「連携ガイド」と表記)をご覧になった事がありますか。

- ・はい 115 (77.7%)
- ・いいえ 33 (22.3%)

	はい	いいえ
病院	22	5
居宅	42	11
包括	17	1
施設	34	16
合計	115	33

※事業所回答数ではなく、アンケート回答数にて集計。

2. (1. で「はい」と答えた方)『連携ガイド』をどのような機会にお使いですか。(複数回答可)

- ・患者・利用者との面談時 18 (13.1%)
- ・新人教育や研修等 15 (10.9%)
- ・業務の確認等 44 (32.1%)
- ・活用する機会がなかった 54 (39.4%)
- ・その他 5 (3.6%)
- ・未記入 1 (0.7%)

	面談	研修	業務	機会ない	その他	未記入
病院	4	4	9	9	1	1
居宅	9	7	18	14	3	0
包括	1	3	7	9	0	0
施設	4	1	10	22	1	0
合計	18	15	44	54	5	1

【「その他」でのご意見】

(病院・1件)

- ・困った時にみる。

(居宅・3件)

- ・利用者様が病院から退院時に病院側から頂いています。
- ・実際にはソーシャルワーカーの方々のやりとりが先行してしまい連携ガイドの活用にはいたっていません。
- ・研修で教えてもらいました。

(施設系・1件)

- ・使用はした事がない。

### 3. 「連携ガイド」を使用してのご意見をお聞かせ下さい。

	活用している わかりやすい 特に問題なかった	変更・改善し た方がよい	その他
病院	5	0	0
居宅	11	1	5
包括	3	0	0
施設系	1	0	4

#### 【「活用している、わかりやすい、特に問題なかった」のご意見】

(病院等・計20件)

- ・カンファレンスや退院支援を行う際に役立つ。
- ・相談員に就任した際に業務の確認の為に使用しました。今後、研修や他職種の業務内容の把握などにも使用できると思います。
- ・連携ガイドを基に外部の各関係者の方々との調整がスムーズに行えるので、今後も活用していきたいとします。など

#### 【「変更・改善した方がよい」のご意見】

(居宅・1件)

- ・業務の確認が研修等で利用しています。入院前や入院中、退院時等分けて書かれていますが、コロナ禍での入退院の支援について書かれていると良いと思います。

#### 【「その他」のご意見】

(居宅・5件)

- ・連携ガイドというより現場の方々の意識が低下したように感じます。コロナ禍で疲れているのでしょうか？コロナ禍だから活用すべきかとも思いますが、医療機関により温度差もあり支援しにくい印象があります。

- ・退院前カンファレンスなしにいきなり退院されるケースが多くなっている。その際に患者さんがどうするかなど事後の対応が掲載されているとよいのではないかと？(①ケアマネに連絡する②ケアマネから病院に確認するかしないのか?) など

(施設系・4件)

- ・わかり易く、活用しやすいがコロナ禍において退院支援が行えない状況ではないか？そのため施設として状態把握が少ないまま戻られる方が多い。 など

### 4. 『連携ガイド』をご覧になって、今後使いやすくする為のご意見をお願いいたします。

	特に問題ない	変更・改善し た方がよい	その他
病院	4	1	0
居宅	14	6	5
包括	3	2	0
施設系	8	3	3

#### 【「変更・改善した方がよい」のご意見】

(病院・1件)

- ・事例毎のフローがあると便利。身寄りのない人、困難事例。

(居宅・6件)

- ・感染症や災害時の連携ガイドもあると嬉しい。いろんなガイドがあってバラバラなので、小冊子のようにまとまっていると助かる。

- ・各病院でも対応が違うと思うので、各病院のURLも書かれていれば、必要な病院の情報がわかるので助かります。
- ・枚数が多いので少なくしてほしい。 など

(包括・2件)

- ・各病院の相談窓口の電話番号が記載されていれば使いやすと思います。

- ・フローチャートなどがあると新人に説明しやすいです。

(施設系・3件)

- ・フローチャートにチェック欄があると助かります。フローチャート全体図の他に、各職種毎に分けた確認事項やポイントを見て進捗の度合いが視覚化できてほしいと思いました。 など

#### 【「その他」のご意見】

(居宅・5件)

・質問ではないですが、CMの情報が病院に必要な情報がどうなのか？と思う事があります。 など

(施設系・3件)

・印刷物として何部かあると共有しやすい。HPからダウンロードですと利用機会が少ない。 など

令和4年1月吉日

関係者各位

函館市医療・介護連携支援センター  
センター長 岡和田 敦

『はこだて入退院支援連携ガイド』に係わるアンケート調査の実施について(依頼)

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当センターでは「はこだて入退院支援連携ガイド」の運用の標準化を目指し、活用を推奨して参りました。今後、さらに内容を充実させ多くの関係者の皆様に活用頂けるよう皆様方のご意見を参考にさせて頂きたく存じます。

つきましては、お忙しいところ大変恐縮ではございますが、下記の要領でアンケート調査を実施致しますので、ご理解とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

#### 記

1. 各機関で入退院支援に携わっている方がご回答ください。(各機関1枚)
2. 別紙1 アンケート調査票の設問に順次ご記入ください。
3. 令和4年1月21日(金)迄に、当センターへFAXにてご返信をお願いいたします。

#### 【添付資料】

- 別紙1 「はこだて入退院支援連携ガイド」アンケート調査票  
別紙2 「はこだて入退院支援連携ガイド」のご案内

以上

#### [ お問い合わせ先 ]

函館市医療・介護連携支援センター (函館市医師会病院内)  
電話：43-3939 FAX：43-1199  
E-mail：ikr-center@hakodate-ishikai-hp.jp

## 『はこだて入退院支援連携ガイド』 アンケート調査票

### 1. 貴所属機関等についてお聞きします

貴所属機関名等 名称 \_\_\_\_\_  
電話番号 \_\_\_\_\_ ご記入者名 \_\_\_\_\_

### 2. はこだて入退院支援連携ガイドについてお聞きします

(1) 『はこだて入退院支援連携ガイド』（以下「連携ガイド」と表記）をご覧になった事がありますか。\* 数字に○をお付け下さい。

- ① はい →設問（2）にお進み下さい  
② いいえ →別紙2「連携ガイド」の案内をご覧いただき、設問（4）にお進み下さい

(2) (1)で「①はい」とお答えされた方にお伺いします。  
『連携ガイド』をどのような機会にお使いですか。該当項目にチェックして下さい。  
\* 複数回答可

- 患者・利用者との面談時       新人教育や研修等  
 業務の確認等                       その他（                      ）  
 活用する機会がなかった

(3) 「連携ガイド」を使用してのご意見をお聞かせ下さい。  
例) カンファレンス前の確認のために使用, ○○の掲載があると助かる 等

(4) 当センターでは「連携ガイド」を入退院支援連携のマニュアルのような形で、面談、研修、業務確認等にお使いいただければと考えております。  
『連携ガイド』をご覧になって、今後使いやすくする為のご意見をお願いいたします。

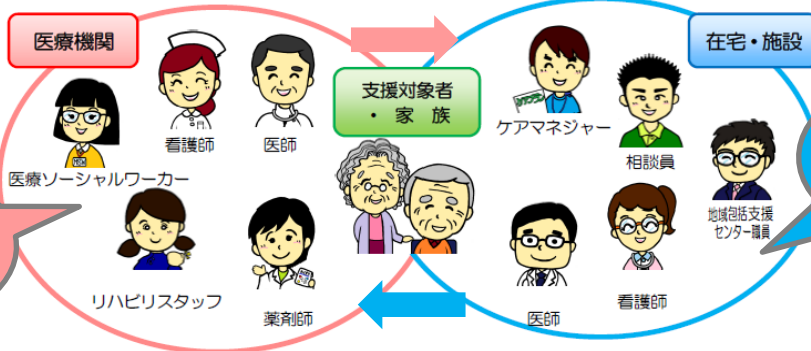
『はこだて入退院支援連携ガイド』のご案内

医療機関	支援対象者・家族	在宅・施設
医師 看護師 リハビリスタッフ 介護士 薬剤師	高齢者 介護者	医師 ケアマネジャー 相談員 地域包括支援センター職員
(1) 入院前		
P6	①日頃からの情報収集に努める	P6
P6	①外来患者に気を配る	②介護保険証など携帯
入院直後		
P7	①スクリーニングを行う	P8
P8	②必要な情報を集める、伝える (はこだて医療・介護連携サマリーの活用)	③関係者へ情報提供を行う (介護連携サマリーの活用)
P8	③医療機関内で情報共有	
P8	④介護保険要介護認定	
P8	⑤虐待等が疑われる場合など	
(3) 入院中		
P9	①主になる退院支援担当者の決定	
P10	②退院に向けた計画づくり ③支援対象者や家族への配慮	P11~12
P10	④在宅・施設担当者との協力	①入院中の支援対象者の情報収集 ②医療機関担当者との協力 ③情報収集の際の留意事項
P11	⑤医療機器の操作や薬物処置の実技指導	
(4) 退院前カンファレンス		
P12~15	①退院前カンファレンスの目的と日程 ②退院前カンファレンスの時期と回数 ③退院前カンファレンスの進め方 ④退院前カンファレンスの内容の共有	P15~16
P12~15	①退院前カンファレンスの開催の判断 ②退院前カンファレンス参加者への連絡・調整 ③退院前カンファレンスの心構え ④サービス担当者会議の内容の共有	
P17	①退院に向けた準備	
P16	②退院時の情報提供 (はこだて医療・介護連携サマリーの活用)	
P16	③介護専門機関での情報提供	
P16	④その他必要な準備	
(6) 退院後		
P18	①退院後の情報提供	P18
P18	①急変時の対応	②急変時のかかりつけ医または施設能力基の役割
P18	②外来時の対応	

入退院支援時の医療・介護  
双方の動きがわかります

各々のタイミングの大切な  
視点や心構え等がわかります

これまでの  
生活を  
知りたい！



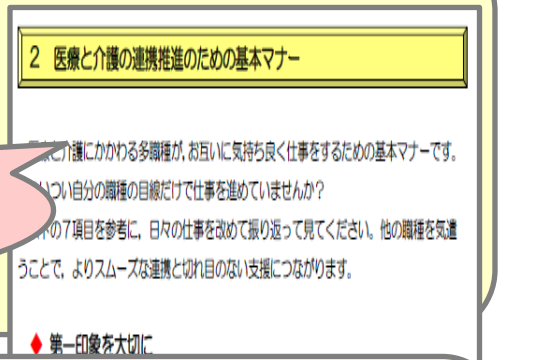
入院中の状況  
今後の見通し  
が知りたい！

「はこだて入退院支援連携ガイド」は、支援対象者の入退院時に医療機関や在宅・施設の方々がお互いどのように動いているのかや、支援対象者に寄り添う視点・心構え等を盛り込んでいます。

【活用例】

- 入退院支援のマニュアルとして
- カンファレンス時の確認
- 業務確認時
- 研修

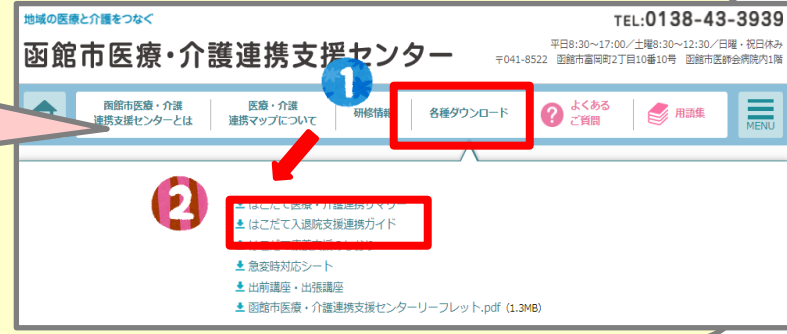
様々な職種が関わるからこそ！  
基本的なマナーも載せています



「はこだて  
入退院支援連携ガイド」は  
当センターHP から  
閲覧、ダウンロード出来ます！



<https://hakodate-ikr.jp/>





はこだて療養支援のしおり  
令和3年度 アンケート集計結果

	事業所 配布数	事業所数 回答数	回収率	アンケート回答数 (同一施設 複数回答あり)
病院	189	79	41.8%	86
居宅	98	45	45.9%	57
包括	10	3	30.0%	9
通所系	101	24	23.8%	24
訪問系	147	44	29.9%	44
施設系 (ショートステイ含む)	166	54	32.5%	54
総数	711	249	35.0%	274

※いくつかの機関から複数人の回答が寄せられたことにより事業所回答数よりアンケート回答数が多くなっている。

通所系 = 通所介護、通所リハビリ、小規模多機能、看護小規模多機能

訪問系 = 訪問介護、訪問看護、福祉用具

施設系 = 特養、老健、グループホーム、サ高住、有料老人ホーム、ケアハウス、養護老人ホーム、ショートステイ

1. 『はこだて療養支援のしおり』(以下「療養支援のしおり」と表記)をご覧になった事がありますか。

・はい	125	(45.6%)
・いいえ	144	(52.6%)
・未記入	5	(1.8%)

	はい	いいえ	未記入
病院	36	47	3
居宅	35	21	1
包括	8	1	0
通所系	5	18	1
訪問系	17	27	0
施設系 (ショートステイ含む)	24	30	0
合計	125	144	5

※事業所回答数ではなく、アンケート回答数にて集計。

2. (1. で「はい」と答えた方) 日常業務において『療養支援のしおり』を活用する機会がありましたか。

・はい	50	(40.0%)
・いいえ	73	(58.4%)
・未記入	2	(1.6%)

	はい	いいえ	未記入
病院	14	22	0
居宅	15	19	1
包括	4	4	0
通所系	2	3	0
訪問系	8	9	0
施設系 (ショートステイ含む)	7	16	1
合計	50	73	2

「はい」\* どのような場面での活用だったか、お聞かせください(複数回答あり)

	情報収集	本人・家族への説明	担当業務の確認	研修
病院	6	5	2	1
居宅	8	3	2	3
包括	4	1	1	0
通所系	2	0	0	0
訪問系	4	2	0	2
施設系	5	2	0	1

「いいえ」\* 活用しなかった理由をお聞かせください(複数回答あり)

	活用する機会がなかった	しおりを知らなかった	その他
病院	21	2	3
居宅	12	3	4
包括	2	1	1
通所系	2	0	2
訪問系	7	0	1
施設系	10	1	0

**【活用しなかった理由の「その他」のご意見】**

(病院・3件)

- ・自分が以前から使っていた説明用紙があるため。
- ・個人では見ていたが全体を通して周知はしていなかった。
- ・日々の業務に追われ導入する余裕がありませんでした。今後業務改善を計りつつ、しおりの活用について検討していきたいと考えております。

(包括・1件)

- ・活用の機会が分からなかった。

(居宅・4件)

- ・知りたい情報がなかった。
- ・すぐ取り出せるように手元に置いておかなかった。
- ・しおりを活用することが日常業務内で自分の中で結びつかなかった。
- ・目を通す時間が持てない為。

(通所系・2件)

- ・知りたい情報がなかった。
- ・目を通すだけで、すぐ見れる場所においていなかった、内容をしっかり把握していなかったなど、こちら側の理由。

(訪問系・1件)

- ・知りたい情報がなかった。

(施設系・1件)

- ・知りたい情報がなかった。介護保険と高齢者福祉の手引きは施設の見学対応をする時に使います。

### (3)意見・要望について

	わかりやすい 参考になる 今後活用して いく	その他
病院	23	7
居宅	25	5
包括	3	0
通所系	9	6
訪問系	20	6
施設系	18	5

#### 【意見・要望の「その他」のご意見】

(病院・7件)

・よくまとまっており、わかりやすいと思います。ただ「しおり」という名称からは利用活用対象者が被介護者やその家族という印象をもちます。

・可能であればクリニック通院中の患者さんは、どこに相談するとよいかわかりやすく書いて頂けると助かります。

・文字が小さいため、よみにくい印象です。

・見たいページがすぐ開けるように色や印があると便利。 など

(居宅・5件)

・もう少し簡略化になれば見やすいように思います。

・このようなしおりがあるとケアマネとしては便利に利用しています。文字数が多いので図や絵をもっと増やして見やすくすると良いと思います。

・今回のアンケートでしっかり確認させてもらいました。とても良いものと思いました。療養支援というタイトルだったので、タイトルのみであまり関係がないのかもと自己判断してしまいました。入退院連携ガイドと一緒になるのいいのですが・・・無理言ってすみません。

・病院の相談窓口の名称、参考になりました。FAX番号も記載があると助かります。

・重度心身障害者医療日の助成についての記載(助成の範囲)(自己負担)。函館市の生活保護の受付窓口の一覧を追加してほしい。

(通所系・6件)

・医療介護関係者の意見・相談から作られたため知りたい情報が載っててよかったですが、携帯からは見づらく調べるのに時間がかかりました。

・通所介護事業所において利用者様に対して直接医療連携を図る事はほとんどなく、ケアマネジャー経由の対応になるため活用する機会は少ないと思われます。 など

(訪問系・6件)

・手帳版やアプリ版ができればいいなと思っております。

・ケアマネジャーが利用者に説明してくれるので、しおりの出番がなかったです。

・もくじで各ページへジャンプできるようにしてほしい(よくある相談のページも)検索しやすいようにしてほしい(見たい情報をこのPDFから探すよりネットで検索した方が早そう) など

(施設系・5件)

・わかりやすかったです。この内容が確認できるアプリがあればいいなと思いました。 など

\*多数同意見あり、まとめて掲載しております。

令和4年1月吉日

関係者各位

函館市医療・介護連携支援センター  
センター長 岡和田 敦

『はこだて療養支援のしおり』に係わるアンケート調査の実施について(依頼)

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年3月より「はこだて療養支援のしおり」が運用開始となりました。当センターでは、今後さらに内容を充実させ多くの関係者の皆様に活用して頂けるよう皆様方のご意見を参考にさせて頂きたく存じます。

つきましては、お忙しいところ大変恐縮ではございますが、下記の要領でアンケート調査を実施致しますので、ご理解とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

#### 記

1. 別紙1 アンケート調査票の設問に順次ご記入ください。
2. 令和4年1月21日(金)迄に、当センターへFAXにてご返信をお願いいたします。

#### 【添付資料】

- 別紙1 「はこだて療養支援のしおり」アンケート調査票
- 別紙2 「はこだて療養支援のしおり」のご案内

以上

#### [ お問い合わせ先 ]

函館市医療・介護連携支援センター (函館市医師会病院内)  
電話：43-3939 FAX：43-1199  
Mail：[ikr-center@hakodate-ishikai-hp.jp](mailto:ikr-center@hakodate-ishikai-hp.jp)

## 『はこだて療養支援のしおり』 アンケート調査票

### 1, 貴所属機関等についてお聞きします

貴所属機関名等 名称 \_\_\_\_\_  
種別 \_\_\_\_\_  
電話番号 \_\_\_\_\_ ご記入者名 \_\_\_\_\_

### 2, はこだて療養支援のしおりについてお聞きします

(1) 『はこだて療養支援のしおり』(以下「療養支援のしおり」と表記)をご覧になったことがありますか。

- ① はい →設問(2)にお進みください
- ② いいえ →別紙2「療養支援のしおり」の案内をご覧いただき、設問(3)にお進み下さい

(2) 日常業務において「療養支援のしおり」を活用する機会がありましたか。

- ① はい  
\* どのような場面での活用だったか、お聞かせ下さい  
[ ]
- ② いいえ  
\* 活用しなかった理由をお聞かせ下さい  
例) 知りたい情報がなかった、見なくても知っていた等  
[ ]

(3) 「療養支援のしおり」について、ご意見ご要望をお聞かせ下さい。

# 『はこだて療養支援のしおり』のご案内

「はこだて療養支援のしおり」は、地域の医療・介護関係者の皆様から寄せられた療養に関する、ご意見・ご相談をもとに知っていたら便利な情報を一冊にまとめております。



病院の相談窓口がわからないなあ

がんの相談ってどこにしたら良いんだろう？

医療費について知りたいなあ

苦情ってどこにしたら良いの？

電話番号が知りたいけど、うまく探せない調べるのが大変



## こんな時、「はこだて療養支援のしおり」をご活用下さい！

2 よくある相談																									
健康な時期	<p>図館市医療・介護連携支援センターが開設した平成29年4月より、地域の専門職の皆さんから寄せられたご意見・ご相談の中で比較的多く聞かれた内容を、医療と介護に分けて記載しております。さらに各専門職から寄せられた相談が支援対象者のどんな状態の場面に寄せられたものなのかを整理し下記の表へまとめています。詳細については( )内のページをご覧ください。</p> <table border="1"> <tr> <th>場面</th> <th>医療側</th> <th>介護側</th> </tr> <tr> <td>(1)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>介護保険の仕組みや内容を知りたい (P5)</li> <li>介護保険のサービスを利用するには? (P5)</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>医療費について知りたい (P7)</li> <li>病床の仕組みを知りたい (P10)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td colspan="3">(共通課題)</td> </tr> <tr> <td colspan="3"> <ul style="list-style-type: none"> <li>ACP・DNARの違いは? (P12)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>担当の介護支援専門員がわからない (P13)</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>医師との連携はどう回る? (P13)</li> <li>病院の相談窓口がわかりにくい (P14)</li> <li>お薬についての相談は? (P15)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td colspan="3">(共通課題)</td> </tr> <tr> <td colspan="3"> <ul style="list-style-type: none"> <li>専門職の役割を知りたい (P15)</li> <li>訪問看護を利用したい (P16)</li> <li>認知症が疑われる場合は? (P18)</li> <li>がんの相談窓口は? (P20)</li> <li>身寄りのない方への支援方法は? (P21)</li> <li>生活困窮者への支援方法は? (P22)</li> <li>通院の移動手段がなく困っている方がいる (P23)</li> <li>苦情の相談窓口は? (P24)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>(3)</td> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>曜日・時間帯別の医療機関のかかり方について知りたい (P25)</li> <li>急変を扱うためにできることって? (P27)</li> </ul> </td> </tr> </table>	場面	医療側	介護側	(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護保険の仕組みや内容を知りたい (P5)</li> <li>介護保険のサービスを利用するには? (P5)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療費について知りたい (P7)</li> <li>病床の仕組みを知りたい (P10)</li> </ul>	(共通課題)			<ul style="list-style-type: none"> <li>ACP・DNARの違いは? (P12)</li> </ul>			(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当の介護支援専門員がわからない (P13)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医師との連携はどう回る? (P13)</li> <li>病院の相談窓口がわかりにくい (P14)</li> <li>お薬についての相談は? (P15)</li> </ul>	(共通課題)			<ul style="list-style-type: none"> <li>専門職の役割を知りたい (P15)</li> <li>訪問看護を利用したい (P16)</li> <li>認知症が疑われる場合は? (P18)</li> <li>がんの相談窓口は? (P20)</li> <li>身寄りのない方への支援方法は? (P21)</li> <li>生活困窮者への支援方法は? (P22)</li> <li>通院の移動手段がなく困っている方がいる (P23)</li> <li>苦情の相談窓口は? (P24)</li> </ul>			(3)		<ul style="list-style-type: none"> <li>曜日・時間帯別の医療機関のかかり方について知りたい (P25)</li> <li>急変を扱うためにできることって? (P27)</li> </ul>
場面	医療側	介護側																							
(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護保険の仕組みや内容を知りたい (P5)</li> <li>介護保険のサービスを利用するには? (P5)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療費について知りたい (P7)</li> <li>病床の仕組みを知りたい (P10)</li> </ul>																							
(共通課題)																									
<ul style="list-style-type: none"> <li>ACP・DNARの違いは? (P12)</li> </ul>																									
(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当の介護支援専門員がわからない (P13)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医師との連携はどう回る? (P13)</li> <li>病院の相談窓口がわかりにくい (P14)</li> <li>お薬についての相談は? (P15)</li> </ul>																							
(共通課題)																									
<ul style="list-style-type: none"> <li>専門職の役割を知りたい (P15)</li> <li>訪問看護を利用したい (P16)</li> <li>認知症が疑われる場合は? (P18)</li> <li>がんの相談窓口は? (P20)</li> <li>身寄りのない方への支援方法は? (P21)</li> <li>生活困窮者への支援方法は? (P22)</li> <li>通院の移動手段がなく困っている方がいる (P23)</li> <li>苦情の相談窓口は? (P24)</li> </ul>																									
(3)		<ul style="list-style-type: none"> <li>曜日・時間帯別の医療機関のかかり方について知りたい (P25)</li> <li>急変を扱うためにできることって? (P27)</li> </ul>																							

地域の医療・介護関係者の皆様から寄せられたご意見・ご相談の中で、多く寄せられた内容をまとめて掲載しております！

本文の青字をクリックすると、関係サイトへ飛びます！

(4)	<p>◎この場面の連携に関してはこちらをご参照ください。 ⇒図館市医療・介護連携支援センターHP 「<a href="#">はこだて入退院支援連携ガイド 2019</a>」</p> <p>(共通課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どんな情報の提供をするといいの? (P28)</li> <li>訪問診療をしている「医療機関」、医療処置のある方が入所できる「施設」を知りたい (P29)</li> </ul>
(5)	<p>(共通課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歯科、栄養に関する相談窓口は? (P30)</li> <li>柔道整復師、鍼灸師・マッサージ師に訪問してもらい治療や施術を受けることはできる? (P30)</li> </ul>
(6)	<p>(共通課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図館市の施設・在宅・病院での暮らしの現状について知りたい (P31)</li> </ul>
(7)	<p>(共通課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の社会資源を知りたい (P32)</li> <li>高齢者の住まいについて知りたい (P32)</li> </ul>

「はこだて療養支援のしおり」は当センターHPから、閲覧、ダウンロード出来ます！



<https://hakodate-ikr.jp/>

地域の医療と介護をつなぐ

TEL:0138-43-3939

平日8:30~17:00/土曜8:30~12:30/日曜・祝日休み  
〒041-8522 函館市富岡町2丁目10番10号 函館市医師会病院内1階

HOME 函館市医療・介護連携支援センターとは 医療・介護連携マップについて 1 各種ダウンロード よくあるご質問 用語集 MENU

2 はこだて医療・介護連携センター  
はこだて入退院支援連携ガイド  
はこだて療養支援のしおり

出前講座・出張講座  
函館市医療・介護連携支援センターリーフレット.pdf (1.3MB)

はこだて療養支援のしおり 修正箇所（令和3年度）

●病床一覧の変更、項目の名称変更。

- ・函館記念病院：一般病床の中止、障害病床開始
- ・函館協会病院：一般病床の中止

【函館市各病院の病床一覧】  
病院により病床機能が変更になっている場合があります。詳細については各病院へお問い合わせください。

(令和3年6月現在)

	一般	地域連携ケア	回復期	障がい	緩和ケア	ホスピス	精神	療養（医療）	療養（介護）	感染症	結核
亀田病院	●	●	●	●							
亀田北病院							●				
亀田花園病院	●							●			
共愛会病院	●	●		●				●			
国立病院機構函館病院	●	●									●
市立函館恵山病院								●			
市立函館南茅部病院	●							●			
市立函館病院	●									●	●
高橋病院	●	●	●						●		
富田病院	●						●	●			
西堀病院	●	●	●	●							
函館おおむら整形外科病院	●	●									
函館おしま病院						●			●		
函館記念病院				●			●	●			
函館協会病院		●	●	●				●			
函館五稜郭病院	●										
函館市医師会病院	●	●		●							
函館新都市病院	●		●								
函館赤十字病院	●	●									
函館中央病院	●										
函館脳神経外科病院	●	●									
函館稜北病院	●	●	●								
函館渡辺病院	●						●				
森病院						●		●	●		

(五十音順)

●病院相談窓口の連絡先の変更

- ・亀田北病院：認知症疾患センターを追加
- ・共愛会病院：（代表）電話から（直通）番号に変更

介護サービス事業所等からの相談対応窓口として、函館市内の病院には連携室や相談室が設置されています。これらの相談窓口には、医療相談員や退院支援看護師等が配置されており、外来患者や入院患者の相談に対応しています。各病院の相談窓口は下記をご参照ください。尚、クリニックや診療所に関しては、連携室や相談室が設置されていないところが多く、看護師や事務員の方が対応しているところもありますので、事前に確認が必要と思われます。

【函館市内 病院相談窓口一覧】 (令和3年6月現在)

医療機関	相談窓口	連絡先
亀田病院	地域連携室	40-1500（代表）
亀田北病院	地域連携室 認知症疾患医療センター	46-4651（代表）
亀田花園病院	地域連携室	33-2501（直通）
共愛会病院	入退院支援室	33-1166（直通）
国立病院機構函館病院	相談支援室	51-0229（直通）
市立函館恵山病院	看護科	85-2001（代表）
市立函館南茅部病院	事務	25-3511（代表）
市立函館病院	患者サポートセンター	43-2000（代表）
高橋病院	医療福祉相談・地域連携室 入退院支援室	23-7221（代表）



## ○修正予定


### 1. 函館薬剤師会からの依頼

『お薬についての相談は？』

- 「調剤薬局」から「薬局」
- 「ほとんど」から「多くの」へ修正

【修正前】

**介護側**



お薬についての相談は？

医療機関から処方された薬の内容についての相談は、まずはかかりつけ医に相談が基本となります。しかし、日常的な服薬管理などは薬剤師へ相談してみましょう。

●かかりつけ薬局について

いくつかの病気があると、多くの医療機関にかかってしまう場合があります。そういう時は、違う名前でも同じお薬が出されてしまう事（重複投薬）があります。かかりつけ薬局では、お薬の交通整理を行うように、同じお薬や似たようなお薬が出されていないか、チェックをしています。また市販の薬との飲み合わせのチェックもしています。かかりつけ薬局を決めておけば、薬について何時でも、何でも相談できて安心です。

●処方薬の配達

ほとんどの調剤薬局で対応しています。配達料は店舗によって違うため各自お問い合わせください。

●訪問による服薬指導

調剤薬局の薬剤師がご自宅を訪問してお薬を適切に飲めるようにお手伝いします。

◎料金については各薬局へお問い合わせください。

◎訪問による服薬指導を実施している機関についてはこちらをご参照ください。


⇒ 函館薬剤師会HP

[「函館薬剤師会・在宅医療支援薬局リスト・お薬でお困りではありませんか」](#)



【修正後】

**介護側**



お薬についての相談は？

医療機関から処方された薬の内容についての相談は、まずはかかりつけ医に相談が基本となります。しかし、日常的な服薬管理などは薬剤師へ相談してみましょう。

●かかりつけ薬局について

いくつかの病気があると、多くの医療機関にかかってしまう場合があります。そういう時は、違う名前でも同じお薬が出されてしまう事（重複投薬）があります。かかりつけ薬局では、お薬の交通整理を行うように、同じお薬や似たようなお薬が出されていないか、チェックをしています。また市販の薬との飲み合わせのチェックもしています。かかりつけ薬局を決めておけば、薬について何時でも、何でも相談できて安心です。

●処方薬の配達

多くの薬局で対応しています。

※配達料は店舗によって違うため、各自お問い合わせください。

●訪問による服薬指導

薬局の薬剤師がご自宅を訪問してお薬を適切に飲めるようにお手伝いします。

◎料金については各薬局へお問い合わせください。

◎訪問による服薬指導を実施している機関についてはこちらをご参照ください。

⇒ 函館薬剤師会HP

[「函館薬剤師会・在宅医療支援薬局リスト・お薬でお困りではありませんか」](#)




2. 担当部署の名称変更のため

『認知症が疑われる場合は？』

- ・「介護予防・認知症担当」から「家族介護支援・認知症担当」へ修正

【修正前】


医療側



～共通課題～

認知症が疑われる場合は？

介護側



まずはかかりつけ医へ相談しましょう。かかりつけ医のいない方は専門の医療機関や下記の窓口等へご相談ください。

●はこだてオレンジケアチーム（函館市認知症初期集中支援チーム）  
 チーム員（医療・福祉・介護の専門職）がご家庭を訪問し、認知症の症状など困っていることについて相談に応じ、適切な医療や介護サービスにつなげるなど、ご本人やご家族の支援を集中的に行います。

◎はこだてオレンジケアチームについてはこちらをご参照ください。  
 ⇒函館市HP「[はこだてオレンジケアチーム](#)」


【ご相談・情報提供など】

函館市保健福祉部高齢福祉課 <b>介護予防・認知症担当（市役所2階）</b>	21-3081
認知症疾患医療センター	P18参照
<a href="#">「函館市地域包括支援センター」</a>	P6参照



【修正後】


医療側



～共通課題～

認知症が疑われる場合は？

介護側



まずはかかりつけ医へ相談しましょう。かかりつけ医のいない方は専門の医療機関や下記の窓口等へご相談ください。

●はこだてオレンジケアチーム（函館市認知症初期集中支援チーム）  
 チーム員（医療・福祉・介護の専門職）がご家庭を訪問し、認知症の症状など困っていることについて相談に応じ、適切な医療や介護サービスにつなげるなど、ご本人やご家族の支援を集中的に行います。

◎はこだてオレンジケアチームについてはこちらをご参照ください。  
 ⇒函館市HP「[はこだてオレンジケアチーム](#)」

【ご相談・情報提供など】

函館市保健福祉部高齢福祉課 <b>家族介護支援・認知症担当（市役所2階）</b>	21-3081
認知症疾患医療センター	P18参照
<a href="#">「函館市地域包括支援センター」</a>	P6参照

### 3. 栄養ケア・ステーションからの依頼


『歯科，栄養管理に関する相談窓口は？』

- ・「栄養ケア・ステーションあおい」から「栄養ケア・ステーション函館支部」へ名称変更
- ・「北美原認定栄養ケア・ステーション」を追加


**【修正前】**

(5) 訪問診療中

医療側



介護側



～共通課題～  
歯科，栄養管理に関する相談窓口は？


●函館歯科医師会 道南圏域在宅歯科医療連携室  
口腔に関すること（口腔ケアや訪問歯科診療など）の相談ができます。  
受付時間 月曜～金曜 10時～16時（木曜は午前のみ）  
◎道南圏域在宅歯科医療連携室についてはこちらをご参照ください。  
⇒函館歯科医師会HP「[道南圏域在宅歯科医療連携室](#)」

道南圏域 在宅歯科医療連携室	函館市五稜郭町23番1号 総合保健センター1階 函館口腔保健センター内	76-0039 (FAX兼)
-------------------	---	-------------------


●公益社団法人 北海道栄養士会「栄養ケア・ステーション® あおい」  
栄養面のサポートが受けられます。また，医師の指示により栄養食事指導が受けられます。

栄養ケア・ステーション® あおい	函館市湯川町2丁目17番8号 湯の川女性クリニック内	090-8631-7953
---------------------	-------------------------------	---------------

医療側



介護側



～共通課題～  
柔道整復師，鍼灸師・マッサージ師に  
訪問してもらい治療や施術を  
受けることはできる？


●柔道整復師による訪問  
骨折及び脱臼，捻挫，打撲，挫傷（肉離れ）等，各種損傷に対して治療を行います。また，自宅で転倒などの怪我をされ，通院が困難な方の自宅に訪問し治療を行います。  
◎訪問可能な整骨院についてはこちらをご参照ください。  
⇒北海道柔道整復師会 函館ブロックHP「[医療・介護連携住療整骨院](#)」




**【修正後】**

(5) 訪問診療中

医療側



介護側



～共通課題～  
歯科，栄養管理に関する相談窓口は？

●函館歯科医師会 道南圏域在宅歯科医療連携室  
口腔に関すること（口腔ケアや訪問歯科診療など）の相談ができます。  
受付時間 月曜～金曜 10時～16時（木曜は午前のみ）  
◎道南圏域在宅歯科医療連携室についてはこちらをご参照ください。  
⇒函館歯科医師会HP「[道南圏域在宅歯科医療連携室](#)」

道南圏域 在宅歯科医療連携室	函館市五稜郭町23番1号 総合保健センター1階 函館口腔保健センター内	76-0039 (FAX兼)
-------------------	---	-------------------

●北海道栄養士会「栄養ケア・ステーション函館支部」  
北美原認定栄養ケア・ステーション  
栄養面のサポートが受けられます。また，医師の指示により栄養食事指導が受けられます。

北海道栄養士会 栄養ケア・ステーション 函館支部	函館市湯川町2丁目17番8号 湯の川女性クリニック内	090-8631-7953
北美原認定栄養ケア・ ステーション	函館市石川町350番18号 北美原クリニック 人工透析センター内栄養指導室	34-6677

# はこだて入退院支援連携ガイド 見直し案

## 1, (参考意見)

「令和2年6月修正（センターHP上）とあるが、表紙は平成29年のままだったので細かく直してくれると助かります」


## (変更内容)

表紙の発行日を削除し、裏表紙に発行日と更新日を掲載。表紙に「連携ルール作業部会 退院支援分科会」名称追加。

【変更前】

医療と介護の連携を支援する

はこだて入退院支援連携ガイド




平成29年 4月

函館市医療・介護連携推進協議会

【変更後】

医療と介護の連携を支援する

はこだて入退院支援連携ガイド



函館市医療・介護連携推進協議会  
連携ルール作業部会 退院支援分科会

医療と介護の連携を支援する  
はこだて入退院支援連携ガイド  
平成29年（2017年）4月 発行  
令和4年（2022年）6月更新  
作成 函館市医療・介護連携推進協議会  
連携ルール作業部会 退院支援分科会  
編集 函館市医療・介護連携支援センター  
住所 〒041-8522  
函館市富岡町2丁目10番10号 函館市医師会館内  
電話 0138-43-3030

## 2. (参考意見)

「各病院の相談窓口の電話番号が記載されていれば使いやすいと思います」

### (変更内容)

- ・「はこだて療養支援のしおり」に相談窓口一覧が掲載されているため、本文の最終ページにしおりの紹介ページを追加。

【変更後（新規ページ追加）】

7 はこだて療養支援のしおり

「はこだて療養支援のしおり」は、地域の医療・介護関係者の皆様から寄せられた療養に関する、ご意見・ご相談をもとに知っていただけたら便利な情報を一冊にまとめております。

病院の相談窓口がわかりにくいな～  
電話番号知りたい・・・

病床の仕組みが知りたいな

担当のケアマネがわからない

こんな時、  
「はこだて療養支援のしおり」をご活用下さい！

地域の医療・介護をつなぐ TEL:0138-43-3939  
函館市医療・介護連携支援センター  
〒041-8522 函館市東2丁目10-10 函館市立総合医療センター  
43-3939

はこだて療養支援のしおり

はこだて療養支援のしおり

「はこだて療養支援のしおり」は  
函館市医療・介護連携支援センターHPから、  
閲覧、ダウンロード出来ます！  
また、印刷して手元においてご利用ください！

連絡先

名称	所在地	電話番号
函館市医療・介護連携支援センター	函館市富岡町2丁目10-10	43-3939



### 3. その他

(変更内容)

- ・⑤虐待等が疑われる場合の対応の本文中に、相談先窓口を掲載（【関係先機関一覧】から移動）
- ・移設する包括支援センターの所在地、電話番号の修正。
- ・「高齢者あんしん相談窓口」名称を削除。

#### 【変更前】

##### (2) 入院直後つづき

#### ③ 医療機関内で情報共有し、連携する

知り得た情報は医療機関内で適切に管理し、医師や病棟スタッフ等で共有できるようにします。  
また、退院予定日を医師へ確認し、全体で把握して退院支援を進めます。

#### ④ 介護保険要介護認定等の有無の確認

介護保険要介護認定等の有無を確認し、各種申請など必要な支援を行うほか、担当しているケアマネジャーがいない場合は、支援対象者や家族の意向を確認し、函館市地域包括支援センター（以下「包括支援センター」）や居宅介護支援事業所の紹介を行います。

#### ⑤ 虐待等が疑われる場合の対応

支援の経過の中で、虐待が疑われる場合には、早急に、函館市保健福祉部高齢福祉課もしくは担当地域の包括支援センターへ報告しましょう。また、虐待の他にもスムーズなサービス利用につながらない状況にある場合は、包括支援センターへ支援依頼しましょう。**（関係機関連絡先P.23参照）**

#### 在宅・施設



#### ① 入院先の状況を把握する

支援対象者が入院した際には、医療機関へ問い合わせがスムーズに進められるよう、家族などから病名、入院している診療科、病棟入院日を確認します。

#### ② 入院時の連携を積極的に進める

退院時のスムーズな連携は、入院時の連携から始まります。積極的かつ適切に対応していくことが重要です。

入院先の退院支援部門の把握、担当医、担当看護師、医療ソーシャルワーカーとの情報共有は積極的に行い、また、入院中、支援対象者や家族には、安心して過

#### 【関係先機関一覧】

名 称	所在地	電話番号
函館市医療・介護連携支援センター	函館市富岡町2丁目10-10	43-3939

#### ●函館市地域包括支援センター（高齢者あんしん相談窓口）

名 称	所在地	電話番号
函館市地域包括支援センターあさひ	函館市旭町4-12	27-8880
函館市地域包括支援センターこん中央	函館市松風町18-14	27-0777
函館市地域包括支援センターときとう	函館市時任町35-24	33-0555
函館市地域包括支援センターゆのかわ	函館市湯川町3丁目29-15	36-4300
函館市地域包括支援センターたかおか	函館市高丘町3-1	57-7740
函館市地域包括支援センター西堀	函館市富岡町2丁目6-11	52-0016
函館市地域包括支援センター亀田	函館市昭和1丁目23-8	40-7755
函館市地域包括支援センター神山	函館市神山1丁目25-9	76-0820
函館市地域包括支援センターよろこび	函館市栂根1丁目14-1	34-6868
函館市地域包括支援センター社協	函館市浜町538-2	82-4700

#### ●市関係窓口

名 称	所在地	電話番号
函館市保健福祉部高齢福祉課 高齢者・介護総合相談窓口	函館市東豊町4-13	21-3025
函館市保健福祉部地域包括ケア推進課 医療・介護連携担当	〃	21-3042

#### 【参考文献】

- 福岡市 退院時連携の基本的な進め方の手引き
- 名古屋における在宅医療・介護連携ガイドライン
- よこすかエチケット集（横須賀市）
- 福井県「退院支援ルール」
- 在宅移行の手引き（公社）全国国民健康保険診療施設協議会
- 東京都退院支援マニュアル

#### 【変更後】

##### (2) 入院直後つづき

#### ③ 医療機関内で情報共有し、連携する

知り得た情報は医療機関内で適切に管理し、医師や病棟スタッフ等で共有できるようにします。  
また、退院予定日を医師へ確認し、全体で把握して退院支援を進めます。

#### ④ 介護保険要介護認定等の有無の確認

介護保険要介護認定等の有無を確認し、各種申請など必要な支援を行うほか、担当しているケアマネジャーがいない場合は、支援対象者や家族の意向を確認し、函館市地域包括支援センター（以下「包括支援センター」）や居宅介護支援事業所の紹介を行います。

#### ⑤ 虐待等が疑われる場合の対応

支援の経過の中で、虐待が疑われる場合には、早急に、函館市保健福祉部高齢福祉課もしくは担当地域の包括支援センターへ報告しましょう。また、虐待の他にもスムーズなサービス利用につながらない状況にある場合は、包括支援センターへ支援依頼しましょう。

#### ●函館市地域包括支援センター

名 称	所在地	電話番号
函館市地域包括支援センターあさひ	函館市旭町4-12	27-8880
函館市地域包括支援センターこん中央	函館市松風町18-14	27-0777
函館市地域包括支援センターときとう	函館市時任町35-24	33-0555
函館市地域包括支援センターゆのかわ	函館市湯川町1丁目15-19	36-4300
函館市地域包括支援センターたかおか	函館市高丘町3-1	57-7740
函館市地域包括支援センター西堀	函館市富岡町3丁目12-25	78-0123
函館市地域包括支援センター亀田	函館市昭和1丁目23-8	40-7755
函館市地域包括支援センター神山	函館市神山1丁目25-9	76-0820
函館市地域包括支援センターよろこび	函館市栂根1丁目14-1	34-6868
函館市地域包括支援センター社協	函館市龍町3-1	82-4700

#### ●市関係窓口

名 称	所在地	電話番号
函館市保健福祉部高齢福祉課 高齢者・介護総合相談窓口	函館市東豊町4-13	21-3025

# はこだて療養支援のしおり 見直し案

## 1, (参考意見)

「本文の(1) 健康な時期～(7) その他までの項目が、目次に無い理由は？」

(変更内容)

もくじに時期の項目を追加する

【変更前】

● もくじ ●	
1 医療と介護の連携推進のための基本マナー	1
2 よくある相談	3
● 介護保険	5
● 医療費	7
● 病床の仕組み	10
● ACP・DNAR	12
● 介護支援専門員/医師との連携	13
● 病院の相談窓口	14
● お薬相談/専門職の役割	15
● 訪問看護	16
● 認知症	18
● がんの相談窓口	20
● 身寄りのない方	21
● 生活困窮者	22
● 通院の移動手段	23
● 苦情の相談窓口	24
● 曜日・時間帯別の医療機関のかかり方	25
● 急変を防ぐ	27
● 情報の提供	28
● 医療機関・施設の探し方	29
● 歯科, 栄養管理の相談窓口/柔道整復師, 鍼灸師・マッサージ師の訪問	30
● 看取りの現状	31
● 地域の社会資源/高齢者の住まい	32
3 関係機関一覧	33



【変更後】

● もくじ ●	
1 医療と介護の連携推進のための基本マナー	1
2 よくある相談	3
(1) 健康な時期	5
● 介護保険	5
● 医療費	7
● 病床の仕組み	10
● ACP・DNAR	12
(2) 通院中	13
● 介護支援専門員/医師との連携	13
● 病院の相談窓口	14
● お薬相談/専門職の役割	15
● 訪問看護	16
● 認知症	18
● がんの相談窓口	20
● 身寄りのない方	21
● 生活困窮者	22
● 通院の移動手段	23
● 苦情の相談窓口	24
(3) 急変時	25
● 曜日・時間帯別の医療機関のかかり方	25
● 急変を防ぐ	27
(4) 入院～退院直後	28
● 情報の提供	28
● 医療機関・施設の探し方	29
(5) 訪問診療中	30
● 歯科, 栄養管理の相談窓口/柔道整復師, 鍼灸師・マッサージ師の訪問	30
(6) 人生の最終段階	31
● 看取りの現状	31
(7) その他	32
● 地域の社会資源/高齢者の住まい	32
3 関係機関一覧	33

## 2, (参考意見)

重度心身障害者医療費の助成についての記載（助成の範囲）（自己負担）

（変更内容）

P7『医療費について知りたい』の項目内に「重度心身障害者医療費助成制度」,「特定医療費（指定難病）」の説明や担当窓口等の掲載を検討

## 3, その他の修正

（変更内容）

P6『介護保険のサービスを利用するには』とP33の関係者一覧を修正。

- ・ガイドと同様に移設する包括支援センターの所在地, 電話番号の修正。
- ・「高齢者あんしん相談窓口」名称を削除。

## 「入退院支援連携強化研修会（ガイド編）」（案）

日 時 : 令和4年 未定

\*コアメンバーと日程調整

開催方法: 集合開催

研修形態: 事例をもとに, グループワーク

参加者 : 退院支援看護師 ( ), 包括 ( ), 居宅 ( ), 訪問看護師 ( ), ワーカー協会 ( )  
病棟看護師 ( )

\*コアメンバー (前回): 函館市地域包括支援センター連絡協議会: 福島 久美子様  
道南在宅ケア研究会: 鈴木 幸子様  
函館地域医療連携実務者協議会: 奥山 ちどり様  
一般社団法人 北海道MSW協会南支部: 岩城 朋美様  
函館市居宅介護支援事業所連絡協議会: 高橋 淳史様  
道南訪問看護ステーション連絡協議会: 高橋 陽子様

参加人数: 40名ほど

テーマ: ガイドを活用し適切な入退院支援の連携の在り方を考える

目 標: ・ガイドを通じて, 入退院支援に関わる職種間で相互理解ができる  
・明日から, 自職種での連携業務を強化できる

構 成: ・事例紹介

例) コロナ禍での退院支援, 急に (本人の希望等で) 退院してしまうケース  
身寄りがないケースなど

\*事例提供者: 未定

・グループワーク: 事例をもとにガイドに沿ってディスカッション